

優秀ポスター受賞者インタビュー 03



神田 循大

工学系研究科
 マテリアル工学専攻
 博士課程3年

◆研究内容について教えていただけますか？

血管に到達可能な低侵襲マイクロニードルデバイスについて研究しています。体外から無痛でニードルを刺入し、体内の血液にアクセスする手法を確立することで、新たな低侵襲治療・診断技術を創出することが目的になります。

◆この研究分野に興味をもたれたきっかけなどありましたら教えてください。

もともと医療分野に興味がありましたが、同時に自分の手で新しい何かを生み出したいという気持ちも持っていました。未来の医療に向けた新たな医療デバイスの開発というテーマは、自分に合っていたと思います。

◆今回発表した内容はどれくらいの期間で行ったものですか？

学部四年からスタートした研究テーマですので、およそ五年間になります。

◆研究を進めるにあたって、特に苦労した点を教えてください。

一から立ち上げたテーマでしたので、研究を始めた初期は右も左もわからず大変でした。デバイスが作れないと何一つ進まないの、特にデバイスの作製プロセス構築には苦労しました。

◆ポスター作成、発表において工夫した点などありましたら教えてください。

とにかくわかりやすく伝えられる発表にすることを意識しました。生命科学シンポジウムは多岐にわたる分野の方が発表を聞きに来るため、どの分野の方にも自分の研究の魅力を理解してもらえるよう努めました。

◆研究を進めるにあたって気をつけていることを教えてください。

普段の生活の中で、自分の研究に使えるようなアイデアがないか常に探しています。一見まったく関係なさそうな分野の話が、自分の抱えている課題を解決するカギになったりすることがあります。

◆今回ポスター発表をして、良かった点、改善してほしい点があれば教えてください。

他の研究科の方と交流する機会が得られたことが一番の収穫でした。普段接している研究室のメンバーとは全く異なる視点から意見をいただくこともあり、とても新鮮でした。

◆これから発表される方にアドバイスがあればよろしくお願ひします。

生命科学シンポジウムは自分の研究の魅力をアピールするいい機会です。異分野の方に面白いと言われてもらえるのは、自信になります。積極的に取り組んでもらえればと思います。

◆将来の夢（目標）を教えてください。

自分の生み出したデバイスを世に広めて、医療の発展に貢献したいと思っています。